

第1回SJAC講演会を開催

研究開発ビジョン～多次元統合防衛力の実現とその先へ～

(一社)日本航空宇宙工業会は、去る10月4日(金)、防衛装備庁 防衛技監 外園博一氏を講師としてお招きし、令和元年度第1回SJAC講演会をホテル グランドヒル市ヶ谷において開催した。

1. 講演会開催の背景

令和元年8月30日に防衛省より、「研究開発ビジョン～多次元統合防衛力の実現とその先へ～」が公表された。これは、昨年12月に公表された防衛大綱および中期防衛力整備計画において、防衛装備につながる技術基盤を強化するため、戦略的な視点から中長期的な研究開発の方向性を示す研究開発ビジョンを新たに策定する、とされていたものである。今回、研究開発ビジョンの策定に関わった技術戦略部技術計画官の協力により、研究開発ビジョン策定部会長である外園防衛技監による講演会を開催することとなった。

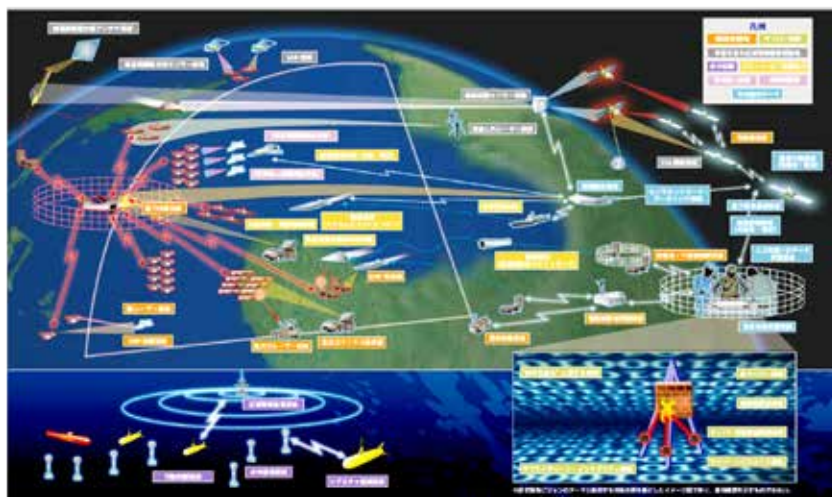
2. 講演会の概要

会員企業のうち約30社から80名を超える聴講者が参加する中、外園防衛技監より約50分にわたり、下記の流れで新たな研究開発ビジョン及び新たな取組みに関する説明が行われた。質疑応答もあわせて約70分の講演会が盛況のうちに終了した。

外園防衛技監ご講演項目

防衛技術政策について
 策定の背景(技術基盤の強化)
 研究開発の基本的な考え方
 研究開発ビジョンにおける各領域の取組
 研究開発ビジョン関連事業
 新たな取組の方向性

本研究開発ビジョンが描く将来の技術成果の適用イメージ図



[防衛装備庁ホームページより]



防衛装備庁 外園防衛技監



講演会場（瑠璃の間）

ご講演いただいた新たな研究開発ビジョンが参加された会員企業の事業活動にも活かされ、航空防衛装備品事業が一層発展すること

を期待すると共に、そのために会員企業と官との懸け橋となれるよう当工業会活動を引き続き推進していく。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 技術部長 佐々木 徹〕